

パネリスト 南越中学校 杉堀 栄治 様

木田小学校 月田千栄子 様

丸岡中学校 後出 和子 様

コーディネーター 田本 憲恭

よい広報誌がよいPTAをつくる

平成27年度 木田小学校 広報委員会 委員長 月田 千栄子

木田小学校について

1

●木田小学校の位置



●町の様子

福井市中心部より南に位置する木田 地区にある 昔ながらの町と新興住宅地が混在 伝統野菜 木田ちそが有名 人口 15,000 人

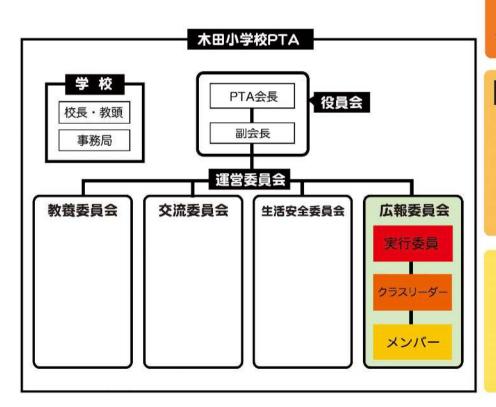
●木田小学校 児童数 約910人 144才 校区が広い 制服着用



木田小広報委員会の構成と役割分担



● 3 段階の広報委員



【実行委員】

人数→ 5名

広報委員長、副委員長からなるコアメンバー

仕事内容→企画、編集、入稿

【クラスリーダー】

人数→約30名

各クラスからの代表

仕事内容→編集会議への出席

写真撮影、取材

【メンバー】

人数→ 約170名

保護者の 1/4 が所属

仕事内容→アンケート回答

広報誌について



●発行物

KIDASHO NEWS







①号外

5月発行

②前期号

10月発行(前期終了後)

3後期号

3月発行 (卒業式前)

- 発行部数 約 800 部
- ●配布先 児童宅、木田公民館、児童館、 児童クラブ、近隣の小中学校、 お世話になった地域の方
- ●原稿の出し方 ワード、エクセル、イラスト レーター、手書きなど 可視化出来るもので。
 - ※テキストは基本的にデジタ ル化している

広報誌作成にあたって



- ●作成前にメンバーが共有すること
 - ①目的の確認・・・・・誰の為の広報誌か?
 - ②具体的な方法・・・・長いあいさつ、文章、過去記事を避ける 写真、イラスト、チャートの多用する。
 - ③テーマ・・・・・・PTA 会長が掲げる PTA スローガンに沿う。 H27 年度は「Let's!コミュニケーション」
 - ④作成のバランス・・・子どもを育む「保護者、学校、地域」記事を ベースに企画していく。



①メイン特集・・・・身近な問題を提起→アンケート→集計→ 話し合い→問題解決→保護者に提案→実践







②委員会活動・・・・3 委員会の活動を紹介しつつ、労をねぎらう。







③新任の先生の紹介・・・・先生や学校のことを身近に感じてもらう。



8

④地域のページ・・・地域との連携を紹介し、繋がりを持つ。





⑤卒業記念ページ・・・児童や保護者が永年保存。





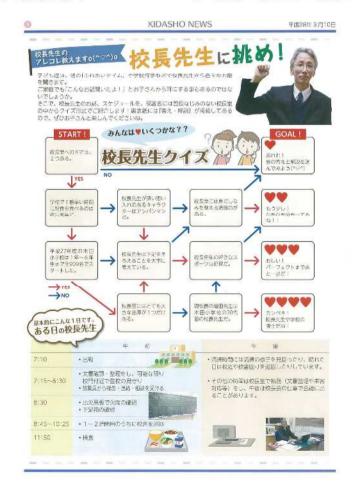


⑥委員会報告・・・・4つの委員会の活動記録、報告。





⑦学校の情報提供・・・・学校生活に役立つ情報ページ







①よい広報誌がよい PTA をつくる

- ②目的をハッキリさせる
 PTA 広報誌は何かの基準の善し悪しではない。
 読む人の「感動」が基準。
 誰が何に感動してくれるのか。誰かにとっての面白いはない。
- ③人にお願いする。
 PTAのメンバー、学校の先生、
 印刷屋さんなど。
- ④広報誌作成の 2 つの目的とゴール
 - (1) 広報誌の作成
 - (2) 広報委員の交流

